

### 主任教授からのメッセージ

救急（医学）科というと女性医師から縁遠い分野のように見られがちですが、たとえば米国では麻酔科と並んで最も若手女性医師に人気のある分野です。これは、いわゆる ER（救急外来）専従勤務が受け持ち患者を持たないシフト制で数ヶ月先まで勤務予定が確定しているため、子育て世代にとって有利な点（優良なベビーシッターの先行予約ができるなど予定が立てやすい）が多いからです。現在、私ども救急医学科には学外研修中を含め 10 名の女性医師が在籍しています。現在でも産休・育休を効果的に取得しながら専門医取得やキャリアアップを実現していただいておりますが、日本救急医学会と協同しながらより一層女性医師の働きやすい制度設計を目指しています。是非、女性救急科専門医の仲間をさらに増やして、work life balance の整った救急医学の世界を作っていただければと期待しています。

#### ○ 診療科の特徴

附属病院・総合医療センターでの勤務があります。救急医は忙しいというイメージでしょうか？もちろん忙しい時は多々ありますが、ON/OFF がしっかりしており休暇もしっかり取れます。日本では救急女性医師のロールモデルはなかなかないのが実際のところではありますが、私たち世代が今後の救急女性医師のためのロールモデルとなる使命があります。

附属病院・総合医療センターの男性医師は働く女性医師のことを理解していただき対応してくださっています。何か不安なことがあれば、子育てをしながら働く女性医師、産休中の女性医師、若手で臨床をしている女性医師、いろんな経験をしている女性医師がいます。いつでも相談や体験をお話することができますので、不安なく一緒に仕事ができればと思っています。

#### ○ 診療科で働く女性医師

附属病院に 2 名、総合医療センターに 7 名、他院に整形外科勉強中の医師が 1 名います。

女性でなければ気が付かない視点をもってみんなさまざまな分野で一生懸命働いています。

### 職場復帰への取り組みについて

#### ○ 復帰までの道のり

特に決まった制度は設けていません。希望により柔軟に対応・サポートします。

#### ○ 女性医師キャリア形成支援担当医師からのメッセージ

私自身は、2025 年度で 16 年目になります。医師 4 年目で結婚しました。5 年目 9 月から 6 年目まで外科に出向し腹部手術の修練を行いました。7 年目に当科に戻り、8 年目から社会人大学院生として大学院に入学し 2021 年 3 月で卒業し医学博士となりました。子供は大好きでももちろん妊娠・出産を望んでいました。29 歳で結婚したので早く妊娠を望めばよかったのかもしれませんが、入局してすぐでまだまだしっかり働きたかったし、外科出向中は自身の技術をつけたく、なかなか子供が欲しいと思えませんでした。出向から戻った 7 年目も戻ってすぐは救急でしっかり仕事をして学んできたことを還元したく、大学院入学後にそろそろ子供ができたらなと思い始めました。主人も医師で忙しく 34 歳で不妊治療を開始しました。不妊治療をしたらすぐに子供ができるだろう、そんな考えで始めましたが、なかなか授からず、不妊治療の途中からは、当直を減らしてもらったり免除してもらったり、夜中の手術の呼び出しもなくしてもらったりと自分の体を大切にしながら仕事ができるよう体制を整えていただきました。今、約 2 年半の不妊治療を経てようやく妊娠することができました。

私自身もいろいろな経験や気持ちで仕事に向き合ってきました。今、一緒に仕事をしている後輩、これから一緒に仕事をすすめる後輩に何か役に立つことがあればと思っています。

体験談 (N 先生)

私は 2025 年 3 月に 3 人目を出産し、産後休暇を経て職場復帰を予定しています。1 人目を出産時は 4 か月の育休の後、短時間勤務正職員制度を利用し、週 3 日の短時間勤務でスタートしました。初めての子育てやブランクの中の復帰で不安はたくさんありましたが、先輩方のサポート、また子供の急な発熱時などは先輩方だけではなく後輩たちも協力、柔軟に対応し乗り切ることができました。

また、妊娠期間中は、当直業務の免除や、当科はシフト制で勤務が組まれているため体に負担の少ない ICU 担当がメインになるなど勤務体制も配慮され、出産前から働きやすい環境で過ごすことができました。

当科は多忙な時もありますが、スタッフ間の連携が強固であること、勤務体制は主治医制ではなく科全体でのチーム制であること、またシフト制で勤務が組まれていることから、子供の行事参加や急な発熱などに対して臨機応変に対応することが可能です。また、同世代の子育てをしている女性医師・男性医師も多く休憩中は子供の話をお互いに相談し、その話に子育てを終えた先輩達に加わり、アドバイスをしてくれたりとアットホームな雰囲気でも過ぎることが多いです。子供・家庭の有無、性別関係なくお互いの考えや働き方を尊重し、医局員全員が働きやすいように日々模索しながらアップデートしているため、復帰後は迷惑をかける事があるかもしれませんが、子育てをしながらの働きやすい環境作りを他スタッフと共にしていけたらと考えます。

